

# CORABOSS名古屋Ⅵ

6月2日「装具治療と痙縮治療について」というテーマで開催されました。当院から田丸司院長、戸嶋和也作業療法士、堀田清行理学療法士が発表をおこないました。

義肢装具を作成され入院中リハビリされていた患者様について、在宅生活を送られているなかでどのように連携をしていく事がよいのかなど議論されました。



## ～夏野菜とお花を植えました～

天気も良く心地よい風が吹き、かえるの泣き声が聞こえる中で、「園芸療法」をおこないました。夏野菜のピーマン・ししとう、にらやバジルなども植えました。



## 透析センターより

### 「透析時間」について

週3回の4時間透析の標準血液透析は、週あたり12時間しか治療されておらず、腎機能の代行は不完全な状態です。

長時間透析は、標準透析よりも1回の透析時間（5～6時間）を長く行う透析方法です。標準的な透析よりも穏やかにより多くの尿毒素や余分な水分の除去ができることがメリットとなり、合併症の減少や貧血、栄養状態の改善が期待できると言われています。



長時間透析って最近聞くけど？



#### 透析時間を増やすメリットについて

- ・通常の血液透析では管理困難な場合の方
  - (1) 心不全の悪化を防いだり、透析中の血行動態が安定します
  - (2) 血圧のコントロールが良好になります。
  - (3) 高リン血症が続いていた方がリンのコントロールが良好になることがあります。
- ・通常の血液透析により安定している方で、時間をかけて除水することで、無理なくより良い状態に維持できるようになります。

診療技術部 臨床工学技士:伊藤